

ALL JAPAN EV-GP SERIES 2024 ROUND 4

第4戦 | 全日本 もてぎ EV 60kmレース大会

2024年8月10日(土) 雨天
決行 もてぎ モビリティリゾートもてぎ

主催: 日本電気自動車レース協会 (JEVRA)

大会後援: 東京中日スポーツ



災害用
充電車

T救号

普段はEV充電車、緊急時には電源車に!!

～仕様により様々なアジャストが可能です～



■車両スペック

車両	日野デュトロ(N04C)
搭載発電機	HMG (hybrid magnetic generator) × 3基
発電機搭載箇所	追加コンプレッサー取付部×1基・フライホイールPTO部×2基
発電機出力容量	DC300V-50A 15kVA (発電機1基あたり)
搭載バッテリー	東芝製 SCiB 2P12S × 10 個直列
バッテリー容量	DC300V-40A 12kVA
Total 出力容量	DC300V-190A 57kVA (発電機3基+バッテリー)
搭載充電器	DCJ503D4AUF(デルタ電子製)・True-G50(Milla-E50 菊水電子工業製)
出力電圧	DC12V / DC24V / DC300V / AC100V / AC200V(3φ) ※出力電圧は仕様により任意に変更可能

東洋電産株式会社

東洋電産株式会社 愛鷹テクノセンター
〒410-0301 静岡県沼津市宮本243番7
TEL:055-929-0511

JEVRA 出張充電サポートのご案内

日本電気自動車レース協会(JEVRA)では、2014年より出張充電サポートを開始して以来、数多くの充電サポートを行って参りました。

全国各地にお伺いして出張充電サポートを様々な会場で行っておりますので、是非ご利用下さい。

移動充電サポート会場(例)

- EVディーラー研修会
- EV走行会
- ジャーナリストEV試乗会
- EVイベント会場
- 急速充電器の無い会場
- 一般EV試乗会
- EV同好会のオフ会
- 空飛ぶクルマ

移動充電サポート内容

- 50kW/h出力の急速充電器による充電サポート。
- 電源は、300kVA出力の電源車で稼働致します。
- 接続プラグは、CHAdeMO(日本)/CCS1(米国)/CCS2(欧州)/GBT(中国)に対応致します。



ご利用料金

※充電サポート会場によって異なりますので、お気軽にお問合せ下さい。

- 急速充電器ご利用料(50kW/h出力)
- 電源車ご利用料(延長ケーブル等の御使用料が別途必要です)
- 宿泊代(宿泊を伴う場合)
- 高速料金(高速道路を使用する場合)
- 車両移動燃料代(急速充電器&電源車)
- 電源車燃料代(急速充電器稼働時使用燃料代)
- 車両超過距離加算(片道100Km以上)



100kW
2出力同時充電

世界標準
OCPPスマート
チャージング

小型化による
設置面積の削減と
コストの低減



新製品

EV/PHEV用 100kWDC充電器 EVHJ104シリーズ

- 最大定格出力100kW
- 世界最小・最軽量クラスの省スペース設計
- CHAdeMO、CCS1/CCS2に対応可能
- 決済・クーポン発行サービス「EZQC」対応
- クラウドサービス対応



サービス
エリア



駐車場



充電サービス
ステーション



商業地域



運輸・輸送
ハブ

デルタ電子株式会社

〒105-0012 東京都港区芝大門2-1-14 TEL:03-5733-1111
<http://www.delta-japan.jp> e-mail: jpmarketing@deltaww.com

 **DELTA**
Smarter. Greener. Together.

2024 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 もてぎ EV 60km レース大会

ROUND

4

MESSAGE

開催のご挨拶



日本電気自動車レース協会 (JEVRA)

理事長 関谷 正徳

Masanori Sekiya

日本電気自動車レース協会 (JEVRA) は、地球温暖化防止と電気自動車 (EV) 産業発展および優秀な人材育成を目的に2010年3月に設立して2024年で15シーズン目を迎えました。“地球温暖化”からより悪化した“地球沸騰化”によると思われる環境破壊が進む中で、“環境に優しいEVレース”を通じて「地球沸騰化に対する意識改革」を推進致します。また、SDGsの達成に向けた取り組みも行い、「気候変動」という国境のないグローバルな課題に挑戦して参ります。気象パターンは変化し、海面は上昇し、異常気象は益々激しくなり、温室効果ガスの排出量は史上最高水準に達しています。

このような様々な難題の解決策として、カーボンニュートラルを目指すこれからの時代は、限りなく「再生可能エネルギー」の使用を目指し、「開発の場」としてのモータースポーツフィールドを活用しEV開発のスピードアップに貢献出来るよう努め、将来を担うEV産業の優秀な人材育成にも「EVレース」を通じて教育環境を提供して参りますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

2024 CALENDAR

第1戦	3月10日(日)	55km	モビリティリゾートもてぎ/栃木県
第2戦	4月27日(土)	55km	筑波サーキット/茨城県
第3戦	6月29日(土)	55km	袖ヶ浦フォレストレースウェイ/千葉県

第4戦	8月10日(土)	60km	モビリティリゾートもてぎ/栃木県
第5戦	9月28日(土)	55km	富士スピードウェイ/静岡県
第6戦	10月20日(日)	60km	筑波サーキット/茨城県

TIME SCHEDULE

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
参加受付 (インタビュールーム)	EV 15 15'									
ブリーフィング (ブリーフィングルーム)		20 EV 35 15'								
車両検査 (車検場)		EV 30'								
公式予選			25 EV 40 15'							
充電		急速充電器 / 普通充電								
スタート進行								EV 45 15'		
決勝								45 EV 13Laps 25		
表彰式									40 EV 55 15'	

※タイムスケジュールは天候その他の理由により変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

ORGANIZATION

- 開催日 令和6年8月10日(土)
- 会場 モビリティリゾートもてぎ/栃木県
- レース距離 60km (4,801m x 13周)
- 主催 日本電気自動車レース協会 (JEVRA)
- 組織 理事長 関谷 正徳
理事 館 信秀
理事 藤本 康孝
理事 柳田 真孝
理事/事務局長 富沢 久哉
- 大会協賛 株式会社ブリヂストン
住友ゴム工業株式会社
横浜ゴム株式会社
東洋電産株式会社
デルタ電子株式会社
ICCインターナショナル株式会社

- 特別会員 電気自動車普及協議会 (APEV)
EVオーナーズクラブ (EVOC)
- 大会後援 東京中日スポーツ
株式会社ブリヂストン
住友ゴム工業株式会社
横浜ゴム株式会社
日本道路株式会社
東洋電産株式会社
株式会社繁原製作所
デルタ電子株式会社
ICCインターナショナル株式会社
株式会社日本ヴェーテック
株式会社トムス



日本電気自動車レース協会 (JEVRA)
〒157-0067 東京都世田谷区喜多見2-6-30
株式会社M&T プランニング内
TEL.03 (6411)0092

[ホームページデザイン]
ライオン株式会社
[プログラムデザイン]
Tecmag



タイヤは、
雨で選ぼ。



 **YOKOHAMA**

詳しくはこちら



横浜ゴム株式会社 ☎0120-667-520 | www.y-yokohama.com/product/tire/

月に一度は空気圧の点検を。

※2023年12月時点

2024 ALL JAPAN EV-GP SERIES

全日本 もてぎ EV 60km レース大会

ROUND

4

ENTRY LIST

エントリー：参加11台

No.	ドライバー	クラス	車名	電池/容量	モーター出力	タイヤ	エンタラント	代表者
5	Joe Justice	EV-S	WIKISPEED ABI TeslaY	Li/75kWh	393kW	YH	WIKISPEED	Joe Justice
6	大野 博美	EV-R	千葉県自動車大学校 AURAE-POWER	-	100kW	BS	BARN RACING	大野 博美
23	KIMI	EV-1	GULF RACING GEPARD	Li/100kWh	750kW		GULF RACING	八代 公博
26	岩沢 理久	EV-R	MKproject NOTE-R	-	80kW	BS	MKproject RACING TEAM	三井 亮
27	市川 雅之	EV-R	MKproject NOTE-R	-	80kW	DL	MKproject RACING TEAM	三井 亮
42	TAKAさん	EV-1	スエヒロ モデル 3	Li/75kWh	360kW	YH	スエヒロ自動車商会	鈴木 淳
55	モンド スミオ	EV-2	モンドコーヒー モデル 3 SR+	Li/55kWh	202kW	BS	Mond Coffee	神谷 貴之
77	本間 康文	EV-3	Mother Audio NJS ZE1	Li/40kWh	110kW	YH	NJS RACING	本間 康文
88	レーサー鹿島	EV-2	東洋電産・リーフ e+	Li/62kWh	160kW	YH	東洋電産株式会社	伊藤 晃
89	井岡 康晟	EV-P	モデュロレーシング Honda e	Li/35.5kWh	113kW	DL	Modulo Racing Team	黒石田 利文
555	廣瀬 多喜雄	EV-R	e-Power オーラ NISMO	-	100kW	BS	OIRAKU RACING	廣瀬 多喜雄

[クラス] EV-1=モーター出力250kW以上 / EV-2=150kW以上 250kW未満 / EV-3=150kW未満 / EV-S=SUV車両(出力自由) / EV-C=市販車改造(出力自由) / EV-F=燃料電池車両(FCV) / EV-R=レンジエクステンダー / EV-P=プロトタイプ
 [タイヤ] BS=ブリヂストン / DL=ダンロップ / YH=ヨコハマ [電池] Li=リチウムイオン電池

POINT RANKING

順位	氏名	Rd.1 もてぎ	Rd.2 筑波	Rd.3 袖ヶ浦	Rd.4 もてぎ	Rd.5 富士	Rd.6 筑波	TOTAL
1	KIMI	20	20	20				60
2	モンド スミオ	8	10	15				33
3	地頭所 光	-	15	-				15
"	密山 祥吾	15	0	-				15
5	安井 亮平	-	-	12				12
"	土屋 圭市	-	12	-				12
"	余郷 敦	12	0	-				12
8	折戸 聡	-	3	8				11
9	レーサー鹿島	0	-	10				10
"	久保 凛太郎	10	0	-				10
11	廣瀬 多喜雄	4	1	4				9
12	飯田 章	-	8	-				8
13	大久保 龍成	-	-	6				6
"	小峰 猛彦	-	6	-				6
"	市川 雅之	6	-	-				6
16	渋谷 和則	-	4	-				4
17	本間 康文	-	0	3				3
"	大野 博美	3	0	0				3
19	寺田 昌弘	-	-	2				2
"	前田 琴未	-	2	-				2
"	荒川 美恵子	2	-	-				2
22	Joe Justice	-	-	1				1

クラス	順位	氏名	Rd.1 もてぎ	Rd.2 筑波	Rd.3 袖ヶ浦	Rd.4 もてぎ	Rd.5 富士	Rd.6 筑波	TOTAL
EV-1	1	KIMI	20	20	20				60
	2	地頭所 光	-	15	-				15
	"	密山 祥吾	15	0	-				15
	4	土屋 圭市	-	12	-				12
	"	余郷 敦	12	0	-				12
	6	久保 凛太郎	10	-	-				10
	7	荒川 美恵子	8	-	-				8
EV-2	1	モンド スミオ	20	20	20				60
	"	レーサー鹿島	0	0	15				15
EV-3	1	本間 康文	-	20	20				40
EV-S	1	折戸 聡	-	15	20				35
	2	小峰 猛彦	-	20	-				20
	3	Joe Justice	-	-	15				15
EV-F	1	大久保 龍成	-	-	20				20
	"	飯田 章	-	20	-				20
EV-R	1	廣瀬 多喜雄	15	20	20				55
	2	大野 博美	12	0	10				22
	3	市川 雅之	20	-	-				20
	4	望月 裕司	-	-	15				15
	"	天田 敬紀	-	15	-				15
	6	田島 豊晴	-	-	12				12
EV-P	1	安井 亮平	-	-	20				20
	"	渋谷 和則	-	20	-				20
	3	寺田 昌弘	-	-	15				15
	"	前田 琴未	-	15	-				15

1位:20point / 2位:15point / 3位:12point / 4位:10point / 5位:8point / 6位:6point / 7位:4point / 8位:3point / 9位:2point / 10位:1point

※同点の場合は優勝回数の多い順/2位以下も同等とするが、それでも同点の場合は最終戦の順位が上位者を優位とする。



Get the Glory!

2023 SERIES CHAMPION DUNLOP TYRE USER

全日本ラリー選手権 Japanese Rally Championship

- ドライバー JN1 H.コバライネン
- JN5 松倉 拓郎
- JN6 天野 智之
- コ・ドライバー JN1 北川 紗衣
- JN5 豊田 耕司
- JN6 井上 裕紀子

全日本ジムカーナ選手権 All Japan Gymkhana Championship

- PN1 朝山 崇
- PN2 川北 忠
- PN4 茅野 成樹

全日本ダートトライアル選手権 All Japan Dirt Trial Championship

- PN1 ノワール シゲオ
- PN2 中島 孝恭
- N 北條 倫史
- SA1 細木 智矢

DUNLOP MOTORSPORT & SPORT TYRE



DIREZZA 03G **DIREZZA β02** **DIREZZA β11** **DIREZZA Z11** **DIREZZA 74R** **DIREZZA 88R** **DIREZZA 301R** **DIREZZA 201R** **DIREZZA 95R**



DUNLOP MOTORSPORT WEB SITE



DUNLOP MOTORSPORT FACEBOOK



DUNLOP MOTORSPORT INSTAGRAM

<http://tyre.dunlop.co.jp>

月に一度は空気圧の点検を！

タイヤお客様相談室
0120-39-2788
受付時間 平日(月~金)
9:00~12:00/13:00~17:00

環境に優しい 電気自動車(EV)レース

2010年にスタートして今年で15シーズン目を迎えた「日本電気自動車レース協会(JEVRA)」が主催するカーボンニュートラルを目指した“地球環境”に優しいモータースポーツがEVレースだ。走行中の二酸化炭素(CO2)の排出をゼロにし、“地球沸騰化”を抑える優しいEVレースは、これからの新しいモータースポーツとして世界中で注目されている。新しい時代を牽引するEVを「レース」というフィールドで競い合うことにより互いの性能を鍛え上げて技術開発のスピードアップと市販車へのフィードバックを目的にEV-GPシリーズは開催される。第4戦は11台による戦いが「モビリティリゾートもてぎ」をステージに60Km(13周)で行われる!!

EVによる8クラスによる戦い

EV-GPシリーズは、昨年からクラス変更により、全8クラスに分かれての戦いが行われる。EV市販車クラスは、駆動モーター最大出力による3クラスとSUV(スポーツユーティリティークル)だけによるEV-Sクラスに分かれる。総合優勝争いに一番近いのが、EV-1クラスで250kW以上のポルシェタイカン、特斯拉モデル3などだ。EV-2クラスは、150kW以上250kW未満で対象車種は日産リーフe+(160kW)と特斯拉モデル3のスタンダードレンジプラスの参加でより激しい争いに期待が掛かる!EV-3クラスが150kW未満で日産リー

フ(110kW)やマツダMX-30(107kW)などのエントリーが対象車種となる。EV-Sクラスはモーター出力自由で日産アリア、メルセデスEQC、アウディe-TRON Q4などが対象となり、市販車のエンジンをモーターに転換したEV-C(コンバート)クラス(出力自由)と、開発もしくはレース専用に製作されたEV-P(プロトタイプ)クラス(出力自由)がある。EV-Fクラスの燃料電池車(FCV)と、“エンジンで発電する”EV-R(レンジエクステンダークラス)の走りにも注目したい。以上の8クラスがそれぞれのクラスで勝負を競い合うことになる。

「第4戦」もてぎラウンドの見どころ

EV-1 クラス

モーター出力250kW以上

今回のEV-1クラスは、シリーズチャンピオンに大手がかかるKIMI選手の駆る特斯拉・モデルS Plaidと昨シーズンシリーズチャンピオンを争ったTAKAさん選手の駆る特斯拉・モデル3の2台がエントリーしている。今シーズンは初参戦となり久しぶりの登場となるTAKAさん選手だが、KIMI選手の躍進を止めることができるのかに注目!



EV-2 クラス

モーター出力150kW以上
250kW未満

EV-2クラスは、前大会に引き続きモンスミオ選手の駆る特斯拉・モデル3とレーサー鹿島選手の駆る日産リーフe+の対決となる。前大会ではクラス違いのKIMI選手をおさえ予選PPを獲得したモンスミオ選手と、惜しくも表彰台は逃してしまったが好調だったレーサー鹿島選手が総合優勝争いにどう食い込んで来るのかに期待が膨らむ!



EV-3 クラス

モーター出力150kW未満

今年で4年目の参戦となる本間康文選手が110kW仕様の現行日産リーフで参戦する。今大会は孤軍奮闘となるが、総合優勝争いにどこまで食い込めるかに注目!また、世界標準となる「グローバルエントリークラス」車両のさらなる参戦にも期待したい。



EV-S クラス

SUV車両/モーター出力自由

EV-Sクラスからは、特斯拉・モデルYを駆るJoe Justice選手が参戦する。今大会はEV-3クラスの本間康文選手と共に孤軍奮闘となるが、表彰台を狙えるポテンシャルを秘めているであろうモデルYでどこまで総合優勝争いに食い込むかに注目したい。



EV-C クラス

市販車にモーターと
バッテリーに変換した車両

EV-C(コンバート)クラスは、市販車ベースのエンジンをモーターとLiバッテリーに変換し「EV」に改造した車両による戦いとなる。今大会の参加は無いが今後の参戦に期待だ。



EV-F クラス

燃料電池車両

EV-F(フューエルセル)クラスは、水素による発電をした電気で走行する燃料電池車両で争われるクラスだ。今回このクラスからの参戦はないが、BEVと共に時代を牽引する水素社会の代表として今後の参戦車両に期待が高まる。



EV-R クラス

レンジエクステンダー

レンジエクステンダーは“エンジンで発電する”新しい発想の車両だ。今回このクラスからは、最多の4台がエントリーしている。MKProject RACING Teamは26号車を岩沢理久選手に、27号車を市川雅之選手にドライバー変更し今大会に挑む。この2台に大野博美選手を含めた3台は、目下2連勝中の廣瀬多喜雄選手の猛進を止めることができるのかに注目!



EV-P クラス

開発車両もしくは
レース専用車両

EV-P(プロトタイプ)クラスは、前大会総合3位を獲得したホンダ・eをドライブした安井亮平選手から井岡康晟選手へとドライバー交代し、もてぎラウンドに挑む。本クラスからは1台のみのエントリーとなるが、総合優勝争いにどう関わってくるのかに期待が膨らむ!



I・C・Cインターナショナルは
 お客様のあらゆるニーズにお応えし
 電源が必要などんな場所へも最適な電気を供給いたします。



4tタイプ

周波数 50Hz 270KVA
 60Hz 300KVA
 出力型式 三相3線/三相4線式
 出力電圧 100V/200V/400V
 〈使用事例〉コンサートツアー、機器展示会



4t特殊無停電電源車

周波数 50Hz 125KVA
 60Hz 150KVA
 出力型式 単相3線/三相3線/三相4線式
 出力電圧 100V/200V
 〈使用事例〉CM撮影、スポーツ中継



Smile & Security

笑顔と安心のために



トスネットグループ
 I・C・Cインターナショナル株式会社



上記のQRコードからも弊社ホームページにアクセスできます

トスネットホームページ

ICCインターナショナル

検索



限界を楽しめ。

Into The Zone

あきらめることはしない。妥協することもない。私の走りには、高揚と挑戦という私だけの楽しみがある。

競うのではなく、自らの心に挑む。

思い描いていた境界や限界が、溶解していく。そのとき、走る喜びが、全身を駆け抜ける。

スポーティーなドライビングを愛する者だけが知る、至福のとき。

POTENZA。その走りはいま、新しいスポーツの世界を拓く。

POTENZA

さらなる高みに到達した、
プレミアムPOTENZA

POTENZA
S007A



幅広い車種に対応する、
スタイリッシュPOTENZA

POTENZA
Adrenalin **RE004**



最速へのこだわりが生んだ、
リアル・スポーツPOTENZA

POTENZA
RE-71RS



ラップタイム短縮を追求した、
リアル・スポーツPOTENZA

POTENZA
RE-12D
RE-12D TYPE A



ラップタイム短縮を追求した、
ハイグリップスポーツタイヤ

POTENZA
RE-09D



株式会社ブリヂストン

【お客様相談室】フリーダイヤル0120-39-2936

受付時間：月～金（祝日および指定休日は除く）9:00～17:00

www.bridgestone.co.jp

BRIDGESTONE
Solutions for your journey

JEVRA EV PORTABLE QC SERIES

日本電気自動車レース協会(JEVRA)では、2010年から培って来たEVレースの経験を生かした急速充電器の販売を開始しました。



CHAdeMO
JAPAN
(or)

CCS1
USA

(or)

CCS2
EUROPE

(or)

GB/T
CHINA



▶ 持運び可能なEV用急速充電器です。(電源は別途必要です)

▶ 接続プラグは、日本(CHAdeMO)/アメリカ(CCS1)
ヨーロッパ(CCS2)/中国(GB/T)の規格に対応しています。

※接続プラグはCHAdeMOが付属しておりますが、オプションの接続プラグを使用することでアメリカ(CCS1)/ヨーロッパ(CCS2)/中国(GB/T)規格にも対応します。

▶ 移動式急速充電器は、様々な場所でご利用頂けます。

自動車整備工場/マンション駐車場/ビル駐車場/外車並行輸入業者/タクシー会社
レンタカー会社/ホテル・旅館駐車場/ EVイベント会社/テストコース/サーキットなど

※室外でのご利用は避けて下さい。(雨天/直射日光は避けて下さい。) ※本体の操作は、特定少数の方のみで行って下さい。
※本体を稼働する時は、必ず固定してご使用下さい。 ※本体には別途、送料が必要です。

No.	型式	定格出力	入力電流	入力電圧 (V) ★1	出力電流 (A)	サイズ/W×D×H	重量	CCS1/CCS2/GBT	価格
①	JEP143420	14kW	44.91A	3相4線/AC200V	40A@DC350V	66×28×60cm	36kg	オプション	オープン
②	JEP211320	21kW	111.11A	単相3線/AC200V	55A@DC350V	66×28×60cm	41kg	〃	〃
③	JEP213420	〃	64.15A	3相4線/AC200V	55A@DC350V	66×28×60cm	41kg	〃	〃
④	JEP283420	28kW	89.81A	3相4線/AC200V	80A@DC350V	66×28×60cm	58kg	〃	〃
⑤	JEP303438	30kW	50.65A	3相4線/AC380V	75A@DC400V	78×60×48cm	100kg	〃	〃
⑥	JEP403438	40kW	67.53A	3相4線/AC380V	40A@1000V	78×60×48cm	100kg	〃	〃
⑦	JEP421320	42kW	134.72A	3相4線/AC200V	120A@DC350V	68×71×87cm	120kg	〃	〃
⑧	JEP453438	45kW	75.97A	3相4線/AC380V	90A@DC500V	78×56×59cm	140kg	〃	〃
⑨	JEP603438	60kW	101.29A	3相4線/AC380V	120A@DC500V	78×66×59cm	140kg	〃	〃
⑩	JEP603438	60kW	101.29A	3相4線/AC380V	60A@1000V	78×56×59cm	140kg	〃	〃
⑪	JEP631320	63kW	350.00A	単相3線/AC200V	180A@DC350V	62×66×101cm	193kg	〃	〃
⑫	JEP633420	〃	202.08A	3相4線/AC200V	180A@DC350V	62×66×101cm	160kg	〃	〃

★1: 入力電圧の誤差は±15%~20%です。

[販売元]

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見2-6-30

株式会社エムアンドティプランニング内

日本電気自動車レース協会(JEVRA)

☎ 03-6411-0092 ✉ ev-charger@jevra.jp

